



薬学検定 3 級受験

平成
26
年度

作成者：小縣栄佐, 原田論史, 外西正明, 石川佳奈, 甲斐愛佳, 齊藤綾香, 佐々木亮子, 清水美寿, 瀧本勇輝

概要

薬学部 初 の試みとして
2014年7月7日(月)～11月25日(火)
計8回の首藤先生による講義の受講
2014年12月2日(火) 12:50～14:20
薬学検定3級を受験

受ける目的

☆医薬品販売の規制緩和を受け、ある程度自分で正しい薬を選べるようになる。⇒セルフレディケーション
☆薬剤師国家試験、看護師国家試験、管理栄養士国家試験などの国家試験の仮想模試として受験し、勉強の成果と自分の弱点を知る。
☆薬のことを学び随分と理解しているつもりだが自分の薬についての知識がどのくらい正しいのか確かめる機会とする。
☆医療を勉強するに際し、具体的な目標や励みにする。

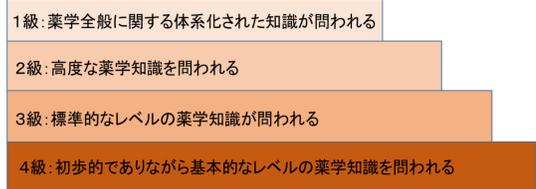
薬学検定とは

NPO法人日本セルフケア支援薬剤師センターが主催する検定試験。薬学を中心とした知識レベルを一定の基準を以って客観的に評価する試験。

- 問題は多肢選択方式(5脚択一)の筆記試験(マークシート方式)
- 受験資格に制限はない
- 1～4級の試験が年2回(6・11月)行われる
- 試験時間は1・2級:120分、3・4級:90分

出題分野	4級	3級	2級	1級
A分野 一般医薬品、医薬部外品、ならびにサプリメントや、保健機能食品の基本問題や有効成分の下記事項に関する問題。 ○作用・効能 ○副作用 ○使用上の注意	40問	40問	20問	20問
B分野 薬学を主とした医療用語に関する問題。 (2級から専門用語も含まれる)	10問	10問	20問	20問
C分野 疾患の、特に生活習慣病疾患の概略・予防・改善のための家庭医学的な問題など、薬学と関係する周辺分野の問題。		10問	20問	20問
D分野 病院や診療所などの実際の医療現場で使用される医療用医薬品の下記事項に関する問題。 ○作用・効能 ○副作用 ○使用上の注意			20問	20問
E分野 食品と薬の飲み合わせ、及び薬同士の相互作用、および血液・尿検査値の意味とその異常値に深い疾患名に関する問題。				20問
設問数	50問	60問	80問	100問

3級は薬学の基礎的な内容やトクホやサプリメントなど身近な内容が多いので、1年生で薬学のスタートとして受験するに相応しいと考える。今後、2級や1級も受験していきたい。



例題(3級の過去問題より抜粋)

処方各論

薬局で売られている「目薬(点眼薬)」の処方である。次の問題に答えよ。

(処方)	ベルベリン硫酸塩水和物 グリチルリチン酸二カリウム 塩化リゾチーム 塩酸テトラヒドロゾリン マレイン酸クロルフェニラミン シアノコバラミン
------	--

<1>この目薬(点眼薬)の説明あるいは使用上の注意として間違っている記述はどれか。

- 緑内障の診断を受けた人は使用前に主治医に相談する。
- 目薬をさす際、容器の先をまぶた、まつ毛に触れさせない。
- 次第に薬液が混濁してきても使用期間内であれば使い続けることに問題はない。
- 過度に使用すると異常なまぶしさを感じたり、かえって充血を招くことがある。
 - a
 - b
 - c
 - d
 - なし

<2>卵白から抽出・精製されている成分を含むことから、卵アレルギーのある人はこの薬の使用を避ける必要がある。どの成分のことか。

- ベルベリン硫酸塩水和物(硫酸ベルベリン)
- グリチルリチン酸二カリウム
- 塩化リゾチーム
- 塩酸テトラヒドロゾリン
- マレイン酸クロルフェニラミン(クロルフェニラミンマレイン酸塩)

<3>この目薬を点眼した後、口の中に甘味を感じることもある。これは、成分が涙道を通して口の中に流れ出てくるため心配はないが、その原因となる成分はどれか。

- ベルベリン硫酸塩水和物(硫酸ベルベリン)
- グリチルリチン酸二カリウム
- 塩化リゾチーム
- 塩酸テトラヒドロゾリン
- マレイン酸クロルフェニラミン(クロルフェニラミンマレイン酸塩)

<4>この薬に配合されているベルベリン硫酸塩水和物(硫酸ベルベリン)と関係の深い生薬名はどれか。

- 葛根(カクコン)
 - 甘草(カンゾウ)
 - 芍薬(シャクヤク)
 - 黄柏(オウバク)・黄連(オウレン)
- a
 - b
 - c
 - d
 - なし

※他には、「疾患」や「薬学用語」、「ビタミン・ミネラル・サプリメント」がテーマの問題があります。

謝辞

私たちのために時間を割いて、丁寧に教えてくださった首藤先生、本当にありがとうございました。

参考文献：薬学検定事務局HP <http://yakugaku.or.jp>
薬学検定試験 対策&過去問3級4級

解答・解説

<1>3 <2>3 <3>2 <4>4

<1>

- 目薬には血管収縮成分や毛様体筋調節成分が配合されているので、緑内障と診断を受けた人は使用前に医者又は薬剤師に相談する。
- 目薬をさすとき、容器の先がまぶたやまつ毛にふれると、目ヤニや雑菌等のため、薬液が汚染されて混濁することがある。
- 目薬は使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。また、使用期限内であっても、開封後はすみやかに(一か月以内に)使用すること。
- これは血管収縮成分(充血除去成分)が原因である。

<2>

卵アレルギーのある人は抗炎症成分の塩化リゾチームが配合されているので、使用を避ける。

<3>

点眼後、甘みを感じるの、抗炎症成分のグリチルリチン酸二カリウムが配合されているからである。

<4>

ベルベリンは黄柏、黄連の主アルカロイドである。抗菌性が強い。

勉強のポイント ⇒ それぞれの成分の作用・特徴を覚えるべき！
そうすると、副作用などを推察して解けるようになる。

感想

- 薬そのものに対する関心が高まった。
- 丸暗記するのではなく、様々な薬の情報を関連付けて覚えられた。
- 授業が楽しく、勉強していて飽きなかった。
- 4年次に行われるCBTに向けて意識向上。→薬学科の基礎学力の定着
- 国家試験の代わりに、薬学部を卒業したという証明(学士力の証明)にもなる。→創薬・生命薬科学科
- 内容が、専門的でもあったが、身近なものであり、興味をもてる内容だった。
- 個々の薬が有する副作用を学べた。→例)抗コリン薬、抗ヒスタミン薬など
- 一般の風邪薬などの大衆薬の成分について知れた。→ドラッグストアに並ぶ薬の成分表示などを意識して確認するようになった。
- 薬学部の専門科目ではあまり詳しく学ばないような特定保健用食品(トクホ)などについても知れた。
- 栄養学的な分野(各種栄養素、ビタミン、ミネラル)も学べて楽しかった。
- 大学を卒業する前に、履歴書に書ける。→2級、1級にも挑戦したい。
- 2級、1級の受験でも、今回の3級受験のための講義のようなものがあれば嬉しい。
- これからの大学での専門科目(例:薬理学など)の入門として最適であった。
- まだ世間的にあまり知られていないので薬学検定の認知度を上げたい。
- 授業をしてくださったおかげで、明らかに独学するよりもわかりやすく、覚えやすかった。